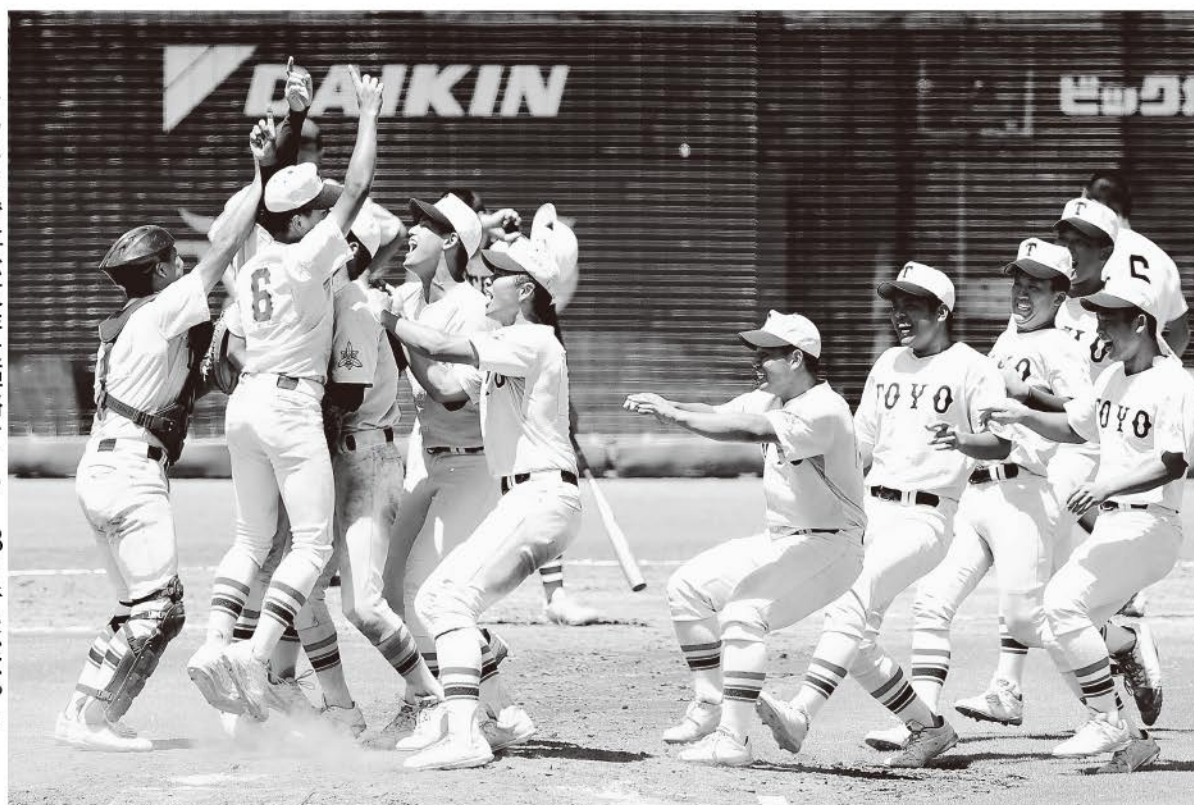


東洋大姫路 甲子園へ

報徳破り
14年ぶり

マウンドで喜ぶ東洋大姫路ナイン。28日午後、ほっともっとフィールド神戸

夏の甲子園出場を懸けた「第107回全国高校野球選手権兵庫大会」最終日は28日、神戸市須磨区のほっともっとフィールド神戸で決勝があり、東洋大姫路が前年覇者の報徳を7―6で下し、14年ぶり13度目の優勝を果たした。8月5日に西宮市の甲子園球場で開幕する全国高校野球選手権大会に出場する。

東洋大姫路は昨秋と今春の県大会と近畿大会でも優勝。史上4校目となる県内3冠を手にした。今春の選抜大会に続く甲子園出場となる。

今大会は5回戦で明石商を1―0で下すなどして勝ち上がった。決勝は二回に桑原大礼捕手の本塁打で先制。3―3の六回に白鳥翔哉真左翼手の適時打などで勝ち越した。

神戸新聞

NEXT



詳しくはこちら

先発メンバー
【東洋大姫路】
④渡辺拓本
⑧木高白鳥
⑦高田村
③高見原
⑨見原
②桑鈴木
⑤鈴木
①木下徳
【報徳】
⑨中丸
⑧丸橋
⑥橋本
③真田
④山岡
②降旗
⑦中尾
①岡田
⑤藤本